

特集 次世代につなぐ 農地の維持保全

2010年の農業センサスによれば、愛媛県の耕作放棄地率は21.95%で全国で5番目に高い水準となっています。全国1位が長崎県という事から考えると島嶼部を多く持つ県の宿命なのでしょう。

2015年11月27日に公表された2015年の農業センサスでは、愛媛県の耕作放棄地は100ヘクタール減少し10,312ヘクタールとなり、良い傾向だと思われました。しかし、地目変更による可能性があるため、農業に視点を置けば残念ながら手放して喜べないようです。また、愛媛県の農業従事者についてもここ5年の間に11,700人(22.1%)減少し、平均年齢も67.8歳と更なる高齢化が進み、維持管理が困難となる農地が今後増加していくことが心配されます。

そこで今回は、「次世代につなぐ農地の維持保全」というテーマで、先進事例なども含め、耕作放棄地対策、農地集約、IT化など、幅広い視点から地域農地を次世代へつなぐための取り組みについて特集いたします。これから地域農業活性化のためのご参考になれば幸いです。(研究員 河内 勇人)

■表紙のことは

これまで日本を支えてきたのは農業、また、今後の国内食料需給に欠かす事ができないのも農業です。しかし近年、農業従事者の高齢化により、多くの農地が管理できなくなってきました。また戦後、住宅復帰のためにと植林され豊かだった山々も、所有者の高齢化や最近のゲリラ豪雨等の影響で荒廃が進んでいます。安定して農作物を供給するには、山地・農地の維持管理、担い手の育成が重要となります。

今、耕作放棄地となった農地を、本来の姿に戻そうというプロジェクトや、耕作放棄地にさせないための対策が各地で行われています。このような活動が有効に働いて、未来の子どもたちに美しい山や田畑が引き継ぎますように。

柳原あや子



●アングル

優良農地を次世代に繋げる

三好 大三郎 / 公益財団法人 えひめ農林漁業振興機構 理事長 1

●特集 / 次世代につなぐ農地の維持保全

①島模様

村上 律子 / 株式会社 しまの会社 代表取締役 (越智郡上島町) 4

②耕作放棄地解消の取り組みについて

毛利 伸彦 / 株式会社 松野町農林公社 代表取締役 (北宇和郡松野町) 6

③「第二のグリーン革命」

一耕作放棄地から未来への希望一

村上 誠 / ロハス企業組合 副理事長 (四国中央市) 8

④なれるか里山の救世主。

門屋 哲朗 / NPO法人 なもし開縁隊 理事長 (松山市) 10

⑤農業から発信する地域のミライづくり

浮穴 道男 / 農業生産法人株式会社 ファーム咲創 代表取締役 (今治市朝倉) 12

●キラリ光るまち

社長の考える農業の姿

新福 秀秋 / 農業生産法人 有限会社 新福青果 代表取締役社長 (宮崎県) 14

●TALK NOW

農業界と経済界の連携で取り組む
農業活性化プロジェクト

大久保 武 / 西条市 企画情報部 地域創生室 総合6次産業都市推進 係長 (西条市) 16

●特別企画

へんろ道沿いの風景 【冬編】 18

●特選ブログ / shin 1さんの日記

耕作放棄地を憂う
若松 進一 / 人間牧場主・年輪塾々長 20

●“MY TOWN” うおっちゃんぐ

榎谷棚田の魅力と城本家の石垣
岡崎 直司 / タウンツーリズム講座主宰・ヘリテージマネージャー 22

●研究員報告

平成27年度 地域づくり人養成講座
秋山 元行 / 研究員 24

●研究員卒業レポート

父と遍路と地域づくり
中矢 具裕 / 愛媛県信用農業協同組合連合会 26

●研究員卒業レポート

2年間を振り返って
鈴木 伸弥 / 伊予銀行 ソリューション営業部 28